

(別紙 2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23 年 10 月 20 日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4271401558		
法人名	株式会社 日進開発		
事業所名	グループホーム「くにみの里」		
所在地	〒859-1325 長崎県雲仙市国見町多比良戊 1449 - 415		
自己評価作成日	平成 23 年 10 月 20 日	評価結果市町受理日	平成 23 年 12 月 26 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目 7217 島原商工会議所 1 階
訪問調査日	平成 23 年 12 月 3 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

「今日も笑顔で楽しく過ごしましょう」をスローガンに 1 日入居者様の笑顔と触れ合える事を楽しみとしています。人生の先輩であられる事を常に念頭に置き、尊厳を持った柔軟な声掛け対応に努めさせていただいております。

自然環境に恵まれた場所に建ち、半島一の低料金でありながらも質の高いサービスを提供し、地域に融合し住民にも親しみを持っていただいている。

施設独自の委員会 (接遇マナー、事故対策、感染対策、車両管理、美化環境管理、拘束ゼロ) を設置し、よりよい質の向上に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

開設から 9 年目を迎える当ホームは、のどかな場所に立地し統一されたケアにより利用者は落ち着いて生活をされている。管理者は、レクレーションインストラクターの有資格者で、日々の生活の中に、レクレーションを取り入れた支援がある。その成果として、平均年齢 90 歳にもかかわらず、介護度が低く、利用者はお互い声を掛け合い助け合いながら、生活をされている。全利用者が、地域からの入居であり、買い物やドライブも全員一緒に、活気がある。また、地元中学校の福祉体験の受け入れや人材育成の貢献として実習生の受け入れも行われており、地域に根差したホームとして、更なる質の向上が期待できるホームである。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の基本理念に基づき、介護職として入居者様とよりよい関係を築く為の決まり事を共有し、実践につなげている	管理者と職員で共に作り上げられた理念は、わかりやすく、利用者と一緒に唱和されて、日々、実践の中で具体化されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年1回の里まつりに地域住民の参加を得ている。又、地域の行事などに参加し、交流を深めている。民生委員、自治会長、自治体などの参加を得て、推進会議などで利用者の顔を覚えてもらっている	ホームの大イベントである里まつりに地域住民を招待し、地域や小学校の行事に利用者と共に参加される等、双方向的な継続したつきあいがある。常に地域住民として接点をもつ努力をされている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実習生の受け入れ又、福祉体験学習の学生の受け入れなどを実施し、認知症への理解を深める手助けを行っている	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	包括支援センターや市の職員などを交えた勉強会を行い、事業所での取組み内容・利用者の現況報告を行い、助言を仰ぎながらサービスの質の向上に活かしている	市の担当者、利用者、家族、地域住民の代表の参加で2ヶ月毎に開催されている。主に利用者の状況や今ホームで取り組んでいる事等を報告され、双方向的な会議になる様に配慮されている。	

5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>市の担当者の方に運営推進会議に参加していただき、情報交換を行うと共にミニ講演などを実施してもらい、現在抱えている問題解決の糸口に繋げている。</p>	<p>運営推進会議に加え、敬老会に出席があり、情報交換しながら、協力関係を築くよう努力されている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議にて自治体による勉強会を開催。その資料を棟に持ち帰り職員各自が目を通し認識を深めている</p>	<p>拘束ゼロ委員会があり、身体拘束をしないケアに取り組まれており、会議録で職員の共有が図られている。施錠のかわりにセンサーを付け、敷地内の事業所には、声かけや連絡をしてもらえる様にお願ひされている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>不穏状態に入る前のサインを見逃さないように努めているが、陥った場合には、寄り添い行動を共にするなどして、落ち着きを取り戻す努力をし、言葉での阻止をなくしている</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>運営推進会議にて自治体による勉強会を開催。その資料を棟に持ち帰り職員各自が目を通し認識を深めている</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時、納得のいく説明を行い理解を得ている。特に料金改定などの説明には文書配布や電話などでの追加説明を行い、同意書にサインをもらっている</p>		

10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>1週間に1度電話による近況報告を行い、その際要望がないかの確認を行っている。月1回発行の「里だより」の担当者からのコメントも好評</p>	<p>聞き方の工夫により家族から意見が出されている。出された意見や要望は家族連絡簿等で共有が図られ、検討され、改善へとつなげている。以前意見箱に投函があり、改善へとつなげた事例もある。意見箱の外に相談苦情窓口を明示し、傾聴の姿勢を明確にしている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎日の業務日誌や棟のミーティング、主任会議などで要望のあった事柄などを毎月開催される業績会議、経営会議などの席上にて報告し、意見や提案を聞く機会を設けている。</p>	<p>毎月開催されるミーティング、食事の時間等を利用して、意見交換を行い運営に反映させている。下剤の調整や利用者間のトラブルの和解等反映された事例は多い。また、休みの希望は勤務表に反映されている。</p>	
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>日々の業務日誌などで意見や要望などを伝えている。</p>		
13		<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修の回覧などを申し送りノートに挟み、常に職員の目の届く場所に設置し、資格取得に便宜を図っている。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>地域の全ての施設が参加できる会議（国見ケア会議・GH連絡協議会）に出席し情報交換を行っている。又グループ企業のため、関連事業所による社内研修も実施し、サービスの質の向上を図っている。</p>		

安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>御家族と一緒に居られるときなど安心した雰囲気の中で、笑顔で接しながら御本人の要望を聞きながら情報収集に努める</p>	
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>今までの経緯を聞き、労を労いつつ御家族の要望などを理解した上でどのようなサービスができるかを話し合う</p>	
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>御本人様の要望・御家族の意向を良く聞き、スタッフ全員で話し合い出来る事は迅速に行い、出来ない事は時間をかけて理解していただけるよう話し合いを持つよう努めている</p>	
18	<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>声かけ、行動など全てにおいて尊厳のある対応をしている。日々の体調や心の動きなどに気を配っている</p>	
19	<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>緊急時の連絡は勿論の事、週に1回電話にて近況報告を行っている。月1回里だよりも行事などでの様子などを報告し、御家族とは密に連絡を取り合っている。特に面会時には御家族が聞きたい事、相談事などを重点に、納得していただくまで説明をおこなっている。</p>	

20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>デイサービスの利用者との交流、墓参りや自宅への送迎。馴染みの店などへの買い物など希望により実施している</p>	<p>生活の継続を保つ為に生活習慣を把握されている。入居前からの知人や店等継続の支援がある。電話は、いつでもかける事ができ、又、法事や結婚式への参加もある。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士の関係がうまくいくよう、各々の体調・感情変化に気を付け、必要時には助言をしながら調整役を引き受けている</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>他の事業所へ移られたり、入院されたりで利用が終了しても情報提供時、注意すべき点などの情報など密に行っている。里まつりなどの行事などにも快く参加していただいている</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>毎日の会話の中での情報収集に努めている。困難な場合は、御家族の協力を仰ぎ協議した上で少しでも御本人様の希望に添えるよう取組んでいる</p>	<p>利用者のこれまでの生活歴を記録し、日々のかかわりの中で把握されている。難聴の方には、あいまいな伝わり方にならない様に配慮をされ、更に家族からも情報を得る事で、一人ひとりにあった暮らし方の支援をされている。</p>	
24		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活歴の把握を行う。その記録に基づき日々の会話の中でも情報収集に努める</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>小さな変化も見逃さないよう日々努めている</p>		

26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>定期的、又は問題が起きた場合など随時カンファレンスを開催し一人一人に応じたプランを作成している。御家族には、週1回電話による状況報告を行っている</p>	<p>介護計画は、本人が何を望んでいるのか、どの様に過ごしたいのかカンファレンスで意見を出し合い検討し、作成されている。日々の記録を基に見直しを行い、現状に即した介護計画を作成されている。又、方針を共有しながら統一したケアを実践されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>特記事項は、赤文字又はマーカーなどを使い、全職員が共有できるように記録の書き方に工夫を凝らしている</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ニーズに優先順位をつけて現状に適したサービスを実施している</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>内科、歯科、皮膚科などの訪問診療、訪問美容院、郵便局ボランティアなどの協力を得ている</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>今までのかかりつけ医の継続を行っている。受診の結果はそのつど御家族に報告。検査時などは、できる限り御家族の付き添いをお願いし、状況把握していただいている</p>	<p>全員かかりつけ医による受診で、受診結果はその都度家族へ報告され、職員は、受診記録や看護記録等により共有が図られている。認知症専門医の受診も可能である。</p>	

31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>週1回看護師が来棟し、利用者の状態を把握。その間の出来事を看護記録に記載し連携、緊急時には連絡し、指示を受けて対応</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>早い時期に三者(御家族・病院側・施設)での話し合いを持ち、退院へ向けての足掛りをつかむ</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>極端にレベル低下となったりした場合、早い段階で御家族との話し合いを持ち、事業所で出来る事と出来ない事への説明をきちんと行い、理解していただいた上で最良の方策を見出す</p>	<p>看取りの指針を作成し、同意を得ている。看護師は隣接する事業所との併任で、毎週1回健康管理が行われている。また、医療機関との連携は図られており、ニーズがあれば看取りを行う方針である。終末期に向けた家族の宿泊も可能である。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時には、看護師に連絡、指示仰ぐ。緊急の場合、応急手当を行いつつデイサービスの看護師にきてもらい応援を仰ぎながら指示通りに対処している。又、消防署の指導を受け、応急手当の研修も行っている。各居室に夜間緊急時のマニュアル、緊急連絡網を掲示し、実践に備えている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>昼間想定・夜間想定にて避難訓練を年2回実施。夜間想定の場合地域住民、団体の協力を得て実施</p>	<p>消防署立会いの下、これまで3回昼夜想定避難訓練をされている。昼夜想定訓練には、地域住民の他、地域の消防団の協力も得られており、スプリンクラーの設置がある。</p>	

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に人生の先輩であられる事を念頭に置き、尊厳を持った言葉かけに注意を払っている。特に同じ名字の方には名前で呼ぶようにしているので馴れ馴れしくならない様に注意している	人生の先輩として尊重し、親しい中にも馴れ合いにならない様に注意を払い、ケアに努められている。個人情報に関する記録物の保管は事務室に保管されている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	先ず、話しやすい雰囲気作りに着手。本人の話を充分聞く。意見を求められたらアドバイスを行うようにして、常に主役が誰であるかを認識する		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望により体操・風船バレーなどを実施。参加したくない人には応援などに回っていただき、その人のスタイルを重視する		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時の整髪や着るものは、本人の希望をとり入れている。季節柄、上に羽織っていただいたりのアドバイスを行っている		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みや栄養バランスなどを考えて、変化のある食事作りを心がけている。その人の咀嚼に合った調理法にも工夫を凝らす。出来る方には、片付けなどを職員と一緒にやっている	誤嚥防止の為嚥下体操をした後、本人に合わせた食事形態で、見た目と味に注意しながら、バランスの良い食事を提供されている。楽しみの一つに出前があり、好評である。個々のペースでゆっくり食事を楽しんでいる。	

41		<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>その人に合った食事量・調理法などに気を配り、食事量・水分量のチェックを行い、その日の観察を怠らないようにしている</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>起床時のうがい薬の提供、毎食後の口腔ケアの実施。出来る方の見守りや声かけにて促したりと本人のやる気を引き出している。就寝時、義歯を水や薬品液につけたりして臭わない工夫をしている</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>定期的なトイレ誘導にて習慣化を図っている。排泄の促しの仕方を工夫し、昼間はトイレを使用</p>	<p>習慣や排泄パターンの把握により、昼夜共個々に応じたトイレ誘導を実施されている。1人夜間のみおむつの使用の方があられるが、リハビリパンツに合わせ、常に見直しが行われている。又、自尊心に配慮した支援もある。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分量のチェック・歩行訓練・繊維食品を積極的に取り入れたメニュー作り。緩下剤の調整</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>9名の方を1日おきに入浴実施。順番は希望に応じている。入浴者が少ない日は、希望により連日の場合もある</p>	<p>基本的に週3回の入浴であるが、希望があれば柔軟に対応する体制である。一部介助の利用者が殆どで、羞恥心や恐怖心へ配慮しながら支援されている。又、しょうぶ湯やゆず湯等季節感を取り入れた支援もある。</p>	

46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心 して気持ちよく眠れるよう支援して いる</p>	<p>本人の希望に応じ、休息 支援を行っている。その 際、空調調節に気を使っ ている</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の変 化の確認に努めている</p>	<p>服薬確認は必ず2名以上 で実施し、誤薬のないよ う努めている。症状の変 化に対しては、医療との 連携を図っている</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活歴や 力を活かした役割、嗜好品、楽しみ ごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>配膳の手伝い、洗濯物た たみ、レクリエーション でのリーダー的役割など その人にあった持場で 役割の支援を実施</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力しなが ら出かけられるように支援している</p>	<p>地域の行事にあわせ、参 加を目的とした外出をし ている。1人一人の希望 に沿い、買い物、墓参り などの外出を行っている。家族の協力を得て、 ミニ外出なども実施</p>	<p>本人に合わせた移動の配 慮により希望に沿った個 別の支援が行われる一 方、全員参加で戸外の行 きたい所へ出かけてい る。又、正月に帰省され る方もおられ、ホームと 家族が協力しながら支え ている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひとりの 希望や力に応じて、お金を所持し たり使えるように支援している</p>	<p>管理可能な方には、手持 ち金などで買い物の際の 支払い支援を行っている</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話 をしたり、手紙のやり取りができる ように支援をしている</p>	<p>希望時には、電話の取次 ぎを実施。書類などの提 出物の代筆などを行い、 自分がやり遂げたという 実感を味わってもらっ ている</p>		

52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>常に清潔に心がけ、空調調節・換気を実施。共有感するスペースにて季節感を味わってもらおうと手作りカレンダー・オブジェにも力を入れている</p>	<p>共有空間は、明るく天気の良い日には、ホームにいながらにして普賢岳を望むことができる。整理整頓され、温度調整も行われている。嫌な音や臭いもなく、外出できない日は、日光浴や、廊下で歩行訓練をされている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間の中でも1人1人が自分のペースで生活を営んでいる。仲間同士で談笑する中で、自分のペースをくずすことなく傾眠する人、テレビ視聴する人など様々である</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室に自身が製作した作品を飾ったり、信仰心の厚い方など神仏を敬い、朝夕の読経に勤まれている。居室内の清掃に心がけ常に居心地よく生活していただけるよう努めている</p>	<p>テレビや加湿器等のもちこみがあり、慣れ親しんだ生活様式が守られ、安心して、自分らしく過ごされている様子が窺える。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室内のトイレや廊下は、手すりが設置されトイレ内に車椅子でも対応できるスペースがあり、でき得る限り1人で用を足せるよう又、プライバシーが守れるよう工夫されている。又、その人の目線にあった場所に、場所を特定できる張り紙を貼る事により、1人ででも行動が起こせるような工夫をしている。</p>		

アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない